

山梨近代人物館の県立博物館への移設について

令和 7 年 2 月 20 日

文化振興・文化財課

1. 経緯

○令和 5 年 11 月

- 知事から近代人物館の博物館への移設について検討するよう指示。

○令和 6 年 4 月

- 守屋博物館館長に近代人物館の博物館への移設について説明。

○同年 7 月

- 知事へ近代人物館移設の検討状況について説明。

知事コメント

山梨の偉人の紹介は博物館の本来業務。「偉人達の功績を称え、より広く周知する。」「これからの山梨を担う子供達の自信に繋げる。」など、博物館への移設の効果をしっかり説明してほしい。

○同年 8 月以降

- 関係者への事前説明（電話連絡、訪問等）を実施。

展示人物関係者 50 名の子孫等関係者、県庁別館展示施設整備検討委員会委員、山梨県人会連合会、人物館運営事業者、県議会議員

○令和 7 年 1 月 31 日

- 知事定例記者会見「令和 7 年度、当初予算等（近代人物館の移設）」

記者質問

どのようなお考えで近代人物館を移設するのか。

知事回答

近代人物館でご紹介している、本県の発展に偉大な功績を残された方々こそ、まさにこの山梨県の歴史そのものだと思いますので、場所としては、本来は県立博物館にあって、過去のいろいろな生活文化も含めて、そこに行けば山梨の発展の流れ、それが見られる場所ですし、そこに貢献された方々は、歴史の重要部分ですので、それがむしろ切り離された場所にあること自体が私は不自然だと思っていました。

なので、県立博物館において、しっかりと山梨の歴史を体感にこられる、いろいろな児童・生徒さんもいらっしゃるわけですし、そういう方々が、見るべきものを見ながら、その中にしっかりと偉大な業績を残された先人の業績に触れて、「山梨はこんなにすごかったのだ、すごいのだ。」とこういう自信を持ってもらえるような場所にしていきたいというのは基本的な考え方です。

- 関係者へ移設のお知らせ

山梨県庁別館 2 階での山梨近代人物館の運営は本年 3 月末までとなり、4 月以

降、移転作業を進め、県立博物館の地域インデックスエリア内に再整備し、10月の県立博物館開館20周年記念特別展「甲州財閥展」の開催と合わせて公開する予定です。

県立博物館には、専門的知見を有する学芸員が配置されており、常設展示では、本県発展の礎を築いた先人の偉業を紹介していることから、学芸員による人物解説や常設展示での人物紹介を通じて、本県の偉人の功績や人物像をより深く学ぶことができる場になるものと考えております。

また、県立博物館には、非常に多くの児童、生徒が学習に訪れており、加えて、県外からの観光客も多いことから、これまで以上に本県の偉人の功績や人物像を知っていただく機会を提供できるものと考えております。

○同年2月13日

■2月議会開会。R7当初予算（案）に移設関連経費を計上。予算額 19,250千円

2. 現状

○令和6年12月16日

■展示等設計業務を乃村工藝社に委託し、現在、文化振興・文化財課、博物館、乃村工藝社と設計協議を進めている。

【山梨県立博物館近代人物コーナー展示等設計業務委託仕様書（一部抜粋）】

業務の目的

本業務は、山梨県立博物館のビデオ・ライブラリー及びキッズ・ライブラリーを含む地域インデックスを再整備することで省スペース化を図り、本県発展の礎を築いた先人50人の功績を発信する展示コーナーを設置するための展示設計等を行うものである。

業務内容

地域インデックスの再整備内容の構成検討・設計

地域インデックスの再整備にあたっては、既存施設の機能を低下することなく、什器の入れ替え等により、省スペース化を図り、近代人物コーナーの設置に必要なスペースを創出すること。現在設置されているPC、AV機器は再整備後においても対象範囲で引き続き使用できるようにすること。

3. 今後の予定

○令和7年3月下旬

■展示設計完了予定。

○令和7年4月1日

■県庁別館2階での山梨近代人物館の運営終了。

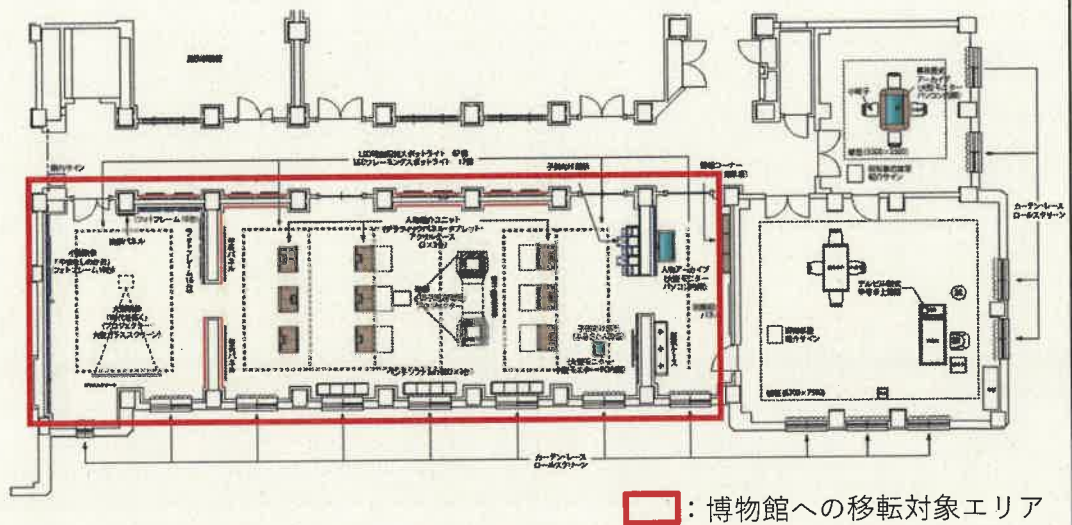
○同年4月2日～

■人物館移設整備作業を進め、県立博物館の地域インデックスエリア内に再整備。

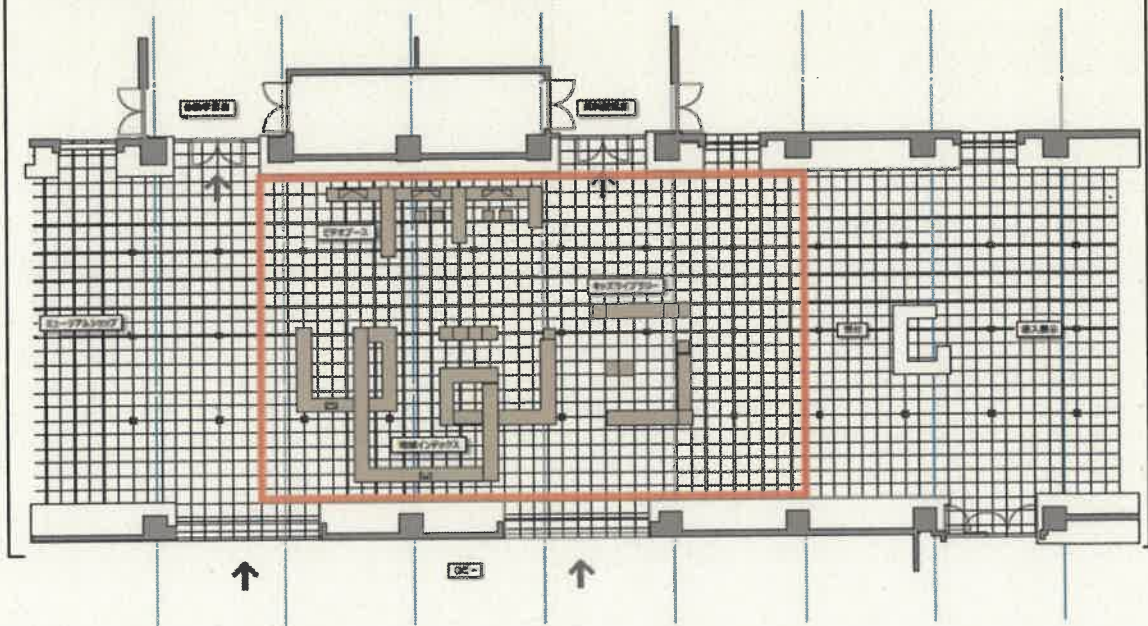
○同年10月10日

■県立博物館開館20周年記念特別展「甲州財閥展」の開催と合わせて公開。

山梨近代人物館 展示設備等現況図



県立博物館 インデックスエリア現況図



山梨近代人物館の概要について

1 概要等

(1) 概要

- ・名称：山梨近代人物館
- ・開館：平成27年4月2日
- ・運営：【開館時間】午前9時～午後5時 【休館日】第2・第4火曜日
- ・観覧料：無料
- ・委託先：公益財団法人 やまなし文化学習協会
- ・委託料：18,608千円(R6)

(2) 展示施設の構成

- ① 人物紹介室（情報展示室含む）約175㎡
先人の功績を紹介する展示コーナー。あわせて、県内における先人ゆかりの施設等を紹介するコーナーを設け、県内各地へと誘導する。
- ② 旧知事室 約75㎡
静謐な空間の中で山梨の歴史に想いを馳せることができる空間を実現するため創建時の姿に修復し、当時の知事執務の情景を知ることができるコーナーとする。
- ③ 歴史展示室（旧知事応接室） 約32㎡
旧知事応接室を創建時の姿に修復し、県政の歴史や県庁内の文化財などをゆっくり閲覧しながら、訪れた人同士で気軽に談話ができるコーナーとする。
- ④ 正庁 約170㎡
創建時の姿に修復し、空間全体の雰囲気を活用し、主として特別な会議や記念式典を挙げるコーナーとする。会議等で使用しない場合は一般に公開する。

(3) 展示のコンセプト

- ・いくつかのテーマを設けストーリーを持った構成とし、そのストーリーに沿って関係する人物を紹介する。年2回（3月末、9月末）展示替えを行う。
- ・パネルや映像などを効果的に組み合わせた手法とする。
- ・何度訪れても新たな発見が得られるよう、展示内容の更新に配慮した展示とする。
- ・県指定有形文化財である県庁別館の意匠の保存に配慮した展示とする。
- ・他の博物館などの周辺施設へ誘導する機能・仕組みを持たせる。

(4) 山梨近代人物館入館者数

- | | |
|------------------|------------------------|
| ○ 平成27年度 16,543人 | ○ 平成28年度 13,337人 |
| ○ 平成29年度 13,775人 | ○ 平成30年度 17,463人 |
| ○ 令和 元年度 16,465人 | ○ 令和 2年度 2,798人 |
| ○ 令和 3年度 4,123人 | ○ 令和 4年度 12,379人 |
| ○ 令和 5年度 7,608人 | ○ 令和 6年度 6,579人（1月末現在） |

山梨近代人物館 人物一覧

山梨近代人物館では、明治から昭和初期にかけて様々な分野で活躍した50人の人物を選定しています。



山梨近代史跡マップ→

人物に関連したスポットをGoogleマップ上でご紹介します。



人物名 (じんぶつめい)

人物の説明

関連スポット ※休館中または公開していない施設を含みます。

生没年

出身

農林業 国際交流 政治・経済 教育 学術・研究 美術・文芸



高野 正誠 (たかの まさなり)

1852年-1923年

フランスへワイン留学

甲州市
氷川神社、ぶどうの国文化館、シャトー・メルシャン 勝沼ワイナリー・ワイン資料館 (勝沼)



塚本 定右衛門 (つかもと さだえもん)

1861年-1948年

大洪水の山梨を救った近江商人

滋賀県近江市
つかもとや、やまなし、おとぎの国、しんがうしんあん、塚本山 (山梨市三富地区)、衆心庵、近江商人博物館 (滋賀県近江市)



土屋 龍憲 (つちや りゅうけん)

1859年-1940年

フランスへワイン留学

甲州市
龍憲セラー、宮光園、ぶどうの国文化館、シャトー・メルシャン 勝沼ワイナリー・ワイン資料館 (勝沼)



八田 達也 (はった たつや)

1854年-1916年

養蚕業改良の功労者

山梨市
富士風穴 (富士河口湖)、八田翁碑 (石和)



浅川 巧 (あさかわ たくみ)

1891年-1931年

韓国の山と民芸を愛した日本人

北杜市
浅川兄弟資料館、浅川兄弟誕生地碑、浅川家墓所 (北杜)、忘憂里公園墓地、朝鮮民俗美術館 (韓国ソウル)



浅川 伯教 (あさかわ のりたか)

1884年-1964年

朝鮮古陶磁の神様

北杜市
浅川兄弟資料館、浅川兄弟誕生地碑、浅川家墓所 (北杜)、朝鮮民俗美術館 (韓国ソウル)



杉浦 譲 (すぎうら ゆずる)

1835年-1877年

日本の郵政制度をはじめる

甲府市
杉浦譲顕彰碑、一蓮寺、六切神祇碑 (甲府)、郵政博物館 (東京都墨田区)



永峯 秀樹 (ながみね ひでし)

1848年-1927年

西洋文明を「翻訳」した英学者

北杜市
徳典館跡碑 (甲府)、ほくと先人室 (北杜)



埴原 正直 (はにはら まさなお)

1876年-1934年

日米関係改善に尽力した外交官

南アルプス市
了円寺 (南アルプス)



雨宮 敬次郎 (あめみや けいじろう)

1846年-1911年

「天下の雨敬」

甲州市
雨敬橋 (塩山)、旧雨宮邸、市村記念館 (旧近衛文彦別荘)、雨宮家墓所 (長野県長野市)、民営機械製粉業発祥の地 (東京都江東区)



石橋 湛山 (いしばし たんざん)

1884年-1973年

山梨育ちの総理大臣！

東京都
山梨平和ミュージアム・石橋湛山記念館、山梨県立甲府第一高等学校 (甲府)、昌福寺 (高士川)、長通寺 (南アルプス)



小田切 謙明 (おたぎり けんめい)

1846年-1893年

小田切謙明一生懸命

甲府市
清運寺、小田切謙明君頌徳之碑 (甲府)



小野 金六 (おの きんろく)

1852年-1923年

葦崎が生んだ大実業家

葦崎市
丸山公園 (身延)、小野金六翁顕彰碑、葦崎市民資料館 (葦崎)



河西 豊太郎 (かさい とよたろう)

1874年-1959年

「甲州財閥」最後の重鎮

南アルプス市
唯月美術館 (南アルプス)、丸山公園 (身延)、根津美術館 (東京都港区)



栗原 信近 (くりはら のぶちか)

1844年-1924年

公益に尽くした明治の二宮尊徳

葦崎市
栗原信近翁之像 (葦崎)、山梨中銀金融資料館 (甲府市)



小林 一三 (こばやし いちそう)

1873年-1957年

阪急・東宝グループの創業者

葦崎市
小林一三翁生家跡の碑 (葦崎)、小林一三記念館 (大阪府池田市)、大阪起業家ミュージアム (大阪府大阪市)



田辺 七六 (たなべ しちろく)

1879年-1952年

政界のカミソリ將軍

甲州市
田辺七六翁徳碑 (塩山)



田辺 有栄 (たなべ ゆうえい)

1845年-1911年

山梨を代表する自由民権活動家

甲州市
小澤島田武氏之碑 (塩山)、徳典館跡碑 (甲府)



富岡 敬明 (とみおか けいめい)

1822年-1909年

山梨県副知事として2人の知事をサポート！ 佐賀県小城市
旧富岡敬明家住宅 (甲府)、小澤島田武氏之碑 (塩山)、開拓神社 (北杜)、ほくと先人室 (北杜)、三角西港 (熊本県宇城市)



内藤 伝右衛門 (ないとう でんえもん)

1844年-1906年

山梨県最初の新聞を発行

山梨市
新聞発祥之地碑、山梨日日新聞社 (甲府)



名取 忠愛 (なとり ちゅうあい)

1866年-1948年

甲府市政に尽力した文人市長

甲府市
遊亀公園碑、武田神社 (甲府)、山縣神社 (甲斐市)



名取 雅樹 (なとり まさき)

1814年-1900年

明治初期の製糸業をリード

甲府市
しんにとどう、真如堂 (京都府京都市)



根津 嘉一郎 (ねづ かいちろう)

1860年-1940年

山梨が生んだ「鉄道王」

山梨市
根津嘉一郎翁、根津記念館、根津橋 (山梨)、丸山公園 (身延)、根津美術館 (東京都港区)



野口 英夫 (のぐち えいふ)

1856年-1922年

徳島生まれの山梨県人

徳島県
野口英夫君碑、山日YBS本社 (甲府市)



野口 正章 (のぐち まさあきら)
東日本ではじめてビールをつくる
株式会社十一屋 (甲府)

1849年-1922年
滋賀県東近江市



早川 徳次 (はやかわ のりつぐ)
山梨が生んだ「地下鉄の父」

1881年-1942年
笛吹市

早川家住宅主屋 (一宮)、社長早川徳次像 (銀座駅)、地下鉄博物館 (東京都江戸川区)



藤村 紫朗 (ふじむら しろう)
近代山梨を築いた若き県知事

1845年-1909年
熊本県

藤村記念館 (甲府)、旧盛伏学校 (牧丘郷土文化館)、旧養米学校 (富士川町民俗資料館)、旧津金学校 (須玉歴史資料館)、旧尾花学校 (都留市尾花郷土資料館)



堀内 良平 (ほりうち りょうへい)
富士山を世界に拓く

1870年-1944年
笛吹市

堀内良平氏の像、丸山公園 (身延)、堀内良平顕徳碑 (山中湖)



若尾 逸平 (わかお いっぺい)
「甲州財閥」の首領

1820年-1913年
南アルプス市

南アルプス市立美術館 (ゆかりの作品を収蔵)、隆巖院、開国橋 (南アルプス)



渡辺 青洲 (わたなべ せいしゅう)
郷土の発展に尽くした文人

1840年-1911年
甲斐市

青洲園、青洲堤、青洲高校 (市川大門)、東大総合図書館 (東京都文京区)



伊藤 うた (いとう うた)
山梨の女子教育の母
甲斐清和高等学校 (甲府)

1868年-1934年
荏崎市



大村 主計 (おおむら かずえ)
童謡「花かけ」の作詞者

1904年-1980年
山梨市

花かけの碑 (富士河口湖町妙法寺境内)、堀山向嶽寺境内、牧丘町花かけホール前庭、旧盛伏学校 (牧丘郷土文化館)



近藤 喜則 (こんどう よしのり)
山梨県議会初代議長

1832年-1901年
南部町

椎山近藤翁碑 (甲府 愛宕神社境内)、近藤椎山翁碑、観科学舎ゆかりの地碑、近藤浩一路記念 南部町立美術館 (南部)



塚原 等 (つかはら ひとし)
山梨最初の特別支援学校を設立

1856年-1922年
昭和町

県立盲学校 (甲府)、県立ろう学校 (山梨)



内藤 満寿 (ないとう ます)
山梨県女子教育のさきがけ
新聞発祥之地碑 (甲府)

1823年-1901年
甲府市



ポール・ラッシュ
日本を愛した清里の父

1897年-1979年
アメリカ合衆国

清里寮、清里聖ヨハネ保育園、ポール・ラッシュ記念館 (清里)



八巻 九萬 (やまき くまん)
歴代最長期間在任の県議会議長

1852年-1929年
北杜市

旧県議会議事堂 (甲府市)、山梨共修社 (東京都文京区)



飯田 蛇笏 (いいた だこつ)
近代山梨を代表する俳人

1885年-1962年
笛吹市

山梨県立文学館、飯田蛇笏文学碑 (甲府)、山廬 (境川)



小宮山 清三 (こみやま せいぞう)
消防の父・木喰仏を世に出す

1880年-1933年
南アルプス市

呂山園 (甲府)、木喰の里微笑館 (身延)



近藤 浩一路 (こんどう こういちろう)
墨に彩りを見た光の水墨画家

1884年-1962年
南部町

山梨県立美術館 (甲府)、近藤浩一路記念 南部町立美術館 (南部)



三枝 雲岱 (さいぐさ うんたい)
明治期を代表する南宋画家

1811年-1901年
北杜市

雲岱先生遺筆之野、愛宕神社、比志神社 (北杜)、八幡神社 (甲府?)



中村 星湖 (なかむら せいこ)
『少年行』を著した自然主義作家

1884年-1974年
富士河口湖町

山梨県立文学館、妙遠寺 (甲府)、中村星湖文学碑 (河口湖)



樋口 一葉 (ひぐち いちよう)
女性作家の第一人者！

1872年-1896年
東京都

山梨県立文学館 (甲府)、慈雲寺 (塩山)、一葉記念館 (東京都台東区)



村岡 花子 (むらおか はなこ)
「赤毛のアン」を翻訳・出版

1893年-1968年
甲府市

山梨県立文学館、甲府教会、山梨英和中学校・高等学校 (甲府市)、東洋英和女学院資料・村岡花子文庫展示コーナー (東洋英和女学院内 東京都港区)



望月 百合子 (もちづき ゆりこ)
20世紀を生き抜いた女性活動家

1900年-2001年
富士川町

望月百合子記念館 (富士川町)



小川 正子 (おがわ まさこ)
ハンセン病医療に尽力

1902年-1943年
笛吹市

春日居郷土館小川正子記念館、記念館隣に歌碑 (5か所)、佛念寺 (春日居)、歌碑 (甲府西高校内)、長島慶生園歴史館 (岡山県瀬戸内市)



功刀 亀内 (くぬぎ きない)
郷土資料「甲州文庫」を収集

1889年-1957年
南アルプス市

山梨県立博物館 (笛吹)



杉浦 健造 (すぎうら けんぞう)
地方病の撲滅に尽力した医師

1866年-1933年
昭和町

昭和町風土伝承館杉浦醫院 (昭和町)、山梨県立博物館に常設展示 (笛吹)



内藤 多仲 (ないとう たちゅう)
東京タワーの設計者

1886年-1970年
南アルプス市

御所 (御形中学校正門前)、山梨県庁舎本館 (甲府)、東京タワー (東京都港区)、名古屋タワー (愛知県名古屋市) 他



山中 共古 (やまなか きょうこ)
牧師と民俗学者の二刀流

1850年-1928年
東京都

甲府教会 (甲府)

◆写真提供 (順不同) / 甲州市、(株) ツカモトコーポレーション資料館聚心庵、北杜市浅川伯教・巧兄弟資料館◎ 浅川文彦、北杜市浅川伯教・巧兄弟資料館、山梨県立博物館、海上自衛隊第1術科学校、石橋湛山記念財団、山梨中銀金融資料館、阪急電鉄株式会社、北杜市教育委員会、東武博物館、富士急行株式会社、伊藤学園甲斐清和高等学校、南部町立美術館、山梨県立盲学校、◎ ポール・ラッシュ記念館、山梨県立文学館、富士川町教育委員会、赤毛のアン記念館・村岡花子文庫、笛吹市教育委員会、昭和町風土伝承館・杉浦醫院、個人蔵

令和 6 年度 シンボル展
「郷土史をのこした人々」
終了報告

1. 概 要

【内 容】

現在私たちが郷土・山梨のことを知ることができるのは、先人たちの郷土史の編纂や研究の成果であり、また資料の収集に賭けた強い思いの積み重ねによるところが大きいといえる。19 世紀初頭の「甲斐国志」編纂や大正時代の若尾家による「山梨県志」編纂事業は、さまざまな古文書やその地域情報を後世へと継承した大きな契機であり、後者は功刀亀内による「甲州文庫」の収集の契機にもつながり、これら修史事業は地域に二度と得ることができない遺産を地域にもたらしたものとみえる。

また個人としての地域への視線は、後世へ当時の郷土の姿を伝えることにつながっている。特に近世から近代にかけて、山梨を訪れた甲府勤番や徹典館学頭ら武士階級のほか、明治の知識人らが書きのこした地域の姿や文化のありようは、当たり前のもつと見逃しがちな私たち自身の地域への意識や視線に、改めて自身らの地域を再認識させる貴重な情報としても役立つ、極めて優れた記録となっている。

本展ではこうした近世から近代にかけての修史事業や資料収集活動、山梨の文化的な特徴を記録した地誌などを紹介し、私たちに郷土史を見つめるための遺産や情報をのこした人々に焦点を当てて照会した。また、展示のラストには、山梨郷土研究会の設立など山梨の郷土史界隈に大きな足跡を残し、当館が所蔵する甲府道祖神祭幕絵に早くから着目し、その紹介や保存にも努めていた野口二郎といった現代の人物についても紹介した。

【期 間】 令和 6 年 5 月 2 5 日（土）～ 6 月 2 4 日（月）
会期日数 3 1 日（開館日数 2 7 日）

【主 催】 山梨県立博物館

【観覧料】 常設展観覧料
一般 5 2 0（4 2 0）円、大学生 2 2 0（1 7 0）円 1
※（ ）内は 2 0 名以上の団体料金、県内宿泊者割引

【主な展示資料】（特に注記がないものは当館蔵）

- 第 1 章 「甲斐国志」、「風流使者記」、「裏見寒話」、「甲斐廻手振」、「並山日記」、「峡中沿革史」、「甲斐の落葉」（個人蔵）、「暴瀉病流行日記」
- 第 2 章 デジタル紙芝居「甲州文庫物語」、富くじ錐・木札・興行関係資料、岩代国蚕種、甲州枅、水晶眼鏡、野壳免許朱印状、「甲府買物独案内」、ビール開業広告、長沢組マッチ商標集、上下府中町触、富田武陵書跡、乙骨耐軒書跡
- 第 3 章 山梨県志編纂会趣旨他、甲州文庫扁額、甲州文庫標札（南アルプス市立図書館蔵）、甲州文庫関係記事集帖、小説「練絲痕」、甲州文庫移管関係綴、小田内通久書簡（天津司の舞保存会蔵）、夏草道中切手（山梨文化会館蔵）、功刀亀内差出野口二郎宛書簡（山梨文化会館蔵）、甲州文庫県内移管に関するお願い（山梨文化会館蔵）、野口金太郎差出野口二郎宛はがき・書簡（山

梨文化会館蔵)、野口二郎「後代に伝える」原稿(山梨文化会館蔵)
ほか 合計 70 点

【関連イベント】

○かいじあむ講座 「功刀亀内と甲州文庫」

講師：小畑茂雄(当館学芸員)

日時：6月9日(日) 13:30～15:00

場所：生涯学習室

参加者：10名

○学芸員によるギャラリートーク

日時：5月25日(土)、6月23日(日)

15:00～16:00

場所：企画展示室

○あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば

時間：11:00～11:30

場所：かいじあむ寺子屋もしくはエントランスロビー

5月26日(日)「かみしばい「甲州文庫物語」

参加者：17人

6月2日(日)「「功刀亀内と甲州文庫」の豆本を作ろう」

参加者：16人

6月16日(日)「功刀亀内のとびだすカードを作ろう」

参加者：4人

【刊行物】 リーフレット A4版・4頁 3,000部(無料配付)

2. 入場者数

【入館者数】 2,506 名(1日平均入館者数：92.8名)

3. 広報

【印刷物】

- ・ポスター (B2サイズ) 600枚
- ・ちらし (A4サイズ) 20,000枚

【マスコミでの紹介】

- ・新聞記事(山梨日日新聞：令和6年5月24日付け展覧会紹介など)

4. 総括

- ・古くて堅いイメージの軽減のため、展示交流員制作の紙芝居「甲州文庫物語」を積極的に活用した。イベントでの紙芝居上演もさることながら、スライドショー形式に仕立てた「デジタル紙芝居 甲州財閥物語」を展示室内で再生したほか、紙芝居のなかのイラストを広報ちらしのデザインや館内総合受付の案内などに活用し、展示の魅力アップやその内容をわかりやすく伝えるためのイメージとして使用した。
- ・紙芝居イラストの活用の副産物として、広報ちらし・ポスターの製作にあたって同イラストの使用を指示したところ、印刷会社からアメコミ風のデザインが提案され、その後看板などのディスプレイにもアメコミ風デザインが採用されており、本展のイメージアップにつながった。
- ・郷土史をのこした人々の展示に関わる団体として山梨郷土研究会との連携を強化し、展示室の最後の部分に同会への入会を勧誘するパネルを設置するなど、本県の郷土史界の活性化に向けて若干の貢献を果たした。
- ・野口二郎関係の展示においては山梨日日新聞社に特段の協力をいただいた。同社グループ団体である山梨文化会館には、所蔵する野口二郎関係資料の調査や貸し出しにおいて配慮いただき、同社で刊行中の創立 150 周年記念誌『山梨を拓く』も、展示の内容の精査に大きく寄与した。
- ・製作した展示パネルについては廃棄される場合が多いが、北杜市立明野中学校図書室から校内への郷土文化啓発のための提供の要請があり、その再活用がおこなわれることとなった。

令和6年度 夏期企画展
「どうぶつ百景－江戸東京博物館コレクションより」
終了報告

1. 概要

【内 容】

本展は、「人々と動物の暮らし」の歴史と文化について、東京都江戸東京博物館の所蔵コレクションを中心に紹介した展覧会である。2022年にフランスのパリ日本文化会館で開催され、好評を博した「いきもの：江戸東京 動物たちとの暮らし」展を拡充させた展示であり、東京都江戸東京博物館の収蔵品のなかから、選りすぐりの美術・工芸資料約240件の展示をおこなった。江戸の人々が動物たちと生き生きと暮らす様子が描かれた浮世絵や巻物、動物をデザインとして取り入れた着物や簪など、動物たちが可愛らしく表現された絵画や生活用品・玩具などのほか、山梨に関わりが深い動物たちについてもあわせて紹介した。

【期 間】 令和6年7月13日（土）～9月2日（月）

会期日数51日（開館日数45日）

【主 催】 山梨県立博物館、公益財団法人東京都歴史文化財団 江戸東京博物館、山梨日日新聞社、山梨放送

【後 援】 朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、読売新聞甲府支局

【協 力】 日本通運株式会社、山梨交通株式会社

【制作協力】 NHKプロモーション

【協 賛】 日本ネットワークサービス

【観覧料】 一般1,000（840）円、大学生500（420）円

※ （ ）内は20名以上の団体料金、県内宿泊者割引

※ 常設＋企画共通 一般1,260円、大学生590円

【主な展示資料】 （所蔵表記のないものは、すべて東京都江戸東京博物館蔵）

「江戸図屏風」（複製）、「鶺鴒会之図屏風」、田中久重「からくり鳥籠」、歌川広重「名所江戸百景 浅草田圃西の町詣」、月岡芳年「風俗三十二相 うるささう 寛政年間処女之風俗」、「白羅紗葵紋付陣羽織」（徳川慶喜所用）、「鸚鵡蒔絵印籠」、「鼠短檠」、「猫の蚊遣り」、ミニチュア玩具「とんだりはねたり」、「聖徳太子黒駒登岳図」（山梨県立博物館）、塩部遺跡出土「馬歯」（山梨県立考古博物館）など 239件。

【関連イベント】

○講演会

「休園中の動物たちの様子と取り組み」

講師：秋山多江氏（甲府市遊亀公園附属動物園 園長）

日時：7月21日（日） 13：30～15：00

場所：生涯学習室

参加者：39名

「江戸東京博物館コレクションにみる動物とくらし」

講師：小山周子氏（東京都江戸東京博物館 学芸員）

日時：8月25日（日） 13：30～15：00

場所：生涯学習室

参加者：40名

○親子で楽しむ！深掘り動物ツアー！！

日時：7月28日（日）①10：00～11：00

②14：00～15：00

場所：企画展示室

対象：小中学生とその保護者

参加者：8名

○学芸員によるギャラリートーク

日時：7月13日（土）、8月18日（日）、9月1日（日）

14：00～15：00

場所：企画展示室

○かいじあむ子ども工房

日時：7月13日（土）「綿で羊を作ろう」

10：30～15：00

（12：00から13：00はお休み）

場所：体験学習室

参加者：21人

日時：8月10日（土）「とんだりはねたりを作ろう」①10：30から

②13：00から

場所：体験学習室

参加者：10人

○あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば

時間：11：00～11：30

場所：かいじあむ寺子屋もしくはエントランスロビー

7月21日（日）「馬のモビールを作ろう」

参加者：30人

7月28日（日）「紙芝居「まねきねこのたま」「たのきゅう」「おさるさん」

参加者：31人

8月4日(日)「動物にちなんだうちわを作ろう」

参加者：23人

8月11日(日)「トラの『ずぼんぼ』を作ろう」

参加者：28人

8月18日(日)「ねこのパズルを作ろう！」

参加者：30人

8月25日(日)「紙芝居「きつねのつかい」「てんとうむしのテム」「ねずみ
ちょうじゃ」

参加者：40人

【刊行物】 図録 B5変形版・296頁 200部(ショップ販売分を除く)

2. 入場者数

【入館者数】 11,666名(1日平均入館者数：259名)

3. 広報

【印刷物】 ・ポスター B2 1,200枚 B3 200枚
・ちらし A4 42,000枚

【マスコミでの紹介】 ・新聞記事(山梨日日新聞：展覧会紹介、連載等)
(朝日新聞、読売新聞：展覧会紹介)
・テレビ番組(山梨放送：展覧会紹介、CM放映)
(NHK 甲府放送局：展覧会紹介)

4. 総括

- ・本展は、2022年にフランスのパリ日本文化会館で開催され、好評を博した「いきもの：江戸東京 動物たちとの暮らし」展を拡充させた展示である。パリで展示した資料に、東京都江戸東京博物館の収蔵品のなかから美術・工芸資料を追加して展覧会を再構成し、国内4館を巡回する形となっている。
- ・東京都江戸東京博物館の資料に加え、当館では馬や蚕など、山梨に関わりが深い動物たちについても紹介した。こうした巡回先のみで展示される資料についても、今回はすべて図録に掲載されており、巡回先4館の資料がまとめて紹介されている。
- ・夏休み期間中の開催ということもあり、山梨日日新聞社の協力を得て、展示会場内に「どうぶつ探検3画面シアター」や「どうぶつお絵描きスクリーン」を設置した。
- ・また、展示内容が全体的に子ども向けではなかったため、子どもにもわかりやすいように子ども向けパネルを展示室内に設置したほか、BINGO形式のワークシートを配布するなど、夏休みの親子連れにも楽しめるような工夫もおこなった。
- ・その他、展示を紹介する動画を当館公式YouTubeチャンネルで公開したほか、新聞連載などもおこない広報活動をおこなったが、夏の企画展としては入館者数が想定人数には届かなかった。SNSなどで感想を見ると、親は楽しめたが子どもは展示品にはあまり興味を示さなかったというようなものもあり、子どもたちがより興味を持てもらえる、楽しんでもらえるような工夫が、さらに必要であったと感じた。

令和6年度 秋期企画展
「奈良大和路の古寺とみほとけ～令和古寺巡礼～」
終了報告

1 概要

【内 容】

哲学の研究者として著名な和辻哲郎（1889～1960）が著した『古寺巡礼』は、大正8年（1919）の刊行以来多くの人に読み継がれてきた。和辻の他にも、亀井勝一郎、志賀直哉など、奈良大和路は多くの文士の心を捉え、今もわたしたちを惹きつけてやまない。本展では、奈良大和路に伝えられた仏像や仏画、仏具などを、写真家・入江泰吉による写真や、文士たちの言葉とともに紹介し、素朴でほのぼのとした風情を漂わせながらも、悠久の歴史や物語を秘めたその魅力を、あますところなく紹介する。普段目にすることのない日本を代表する仏像を間近で観覧し、博物館で「古寺巡礼」を体験するとともに、県内の仏教美術の素晴らしさを改めて認識する機会を提供することを目的として開催した。

【期 間】 令和6年9月28日（土）～11月25日（月）
 会期日数59日（開館日数51日）

【主 催】 山梨県立博物館、UTY テレビ山梨

【後 援】 奈良県、朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局

【協 力】 なら歴史芸術文化村、入江泰吉記念奈良市写真美術館、山梨交通株式会社

【企画協力】 TNC プロジェクト

【観覧料】 一般1,000（840）円、大学生500（420）円

※（ ）内は20名以上の団体料金、県内宿泊者割引

※常設+企画共通 一般1,260円、大学生590円

【主な展示資料】

「普賢菩薩立像（法隆寺六観音のうち）」（重要文化財、法隆寺）、「金堂天蓋付属 飛天・鳳凰」（国宝、法隆寺）、「地藏菩薩立像」（重要文化財、薬師寺）、「薬師寺縁起絵巻」（奈良市指定文化財、薬師寺）、「文殊菩薩騎獅像」（奈良県指定文化財、法華寺）、「地藏菩薩立像（快慶作）」（重要文化財、東大寺）、「大仏螺髪」（東大寺）、「仏手（香薬師像右手）」（新薬師寺）、「十一面観音菩薩立像」（重要文化財、長谷寺）、「菩薩半跏像（伝如意輪観音菩薩）」（重要文化財、岡寺）、「聖林寺十一面観音菩薩立像模刻（個人）」、「中将姫坐像」（當麻寺）、「飛鳥大仏」（写真、入江泰吉記念奈良市写真美術館）、「塑造仏像残欠（特別出品、瑜伽寺）」 など73件（うち写真31件） ※一部展示替えあり。

【関連イベント】

○記念講演会

・「奈良大和路のみほとけ」

講師：関根俊一氏（本展監修、帝塚山大学客員教授）

11月2日（土） 13：30～15：00 生涯学習室 参加者：84名

- ・「薬師寺に伝えられた玄奘三蔵の教え」

講師：大谷徹英（薬師寺執事長）

11月9日（土） 13：30～15：00 生涯学習室 参加者：186名

○あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば

9月29日（日）「琵琶を弾く「飛天」の飛び出すカードを作ろう」参加者：23名

10月6日（日）「写仏をしてみよう」参加者：17名

10月13日（日）「蓮の花を作ろう」参加者：13名

10月20日（日）「お線香を使って匂い袋を作ろう」参加者：17名

11月10日（日）「みほとけとおそろいのアクセサリを作ろう」参加者：16名

11月24日（日）「仏像のカード合わせゲームにチャレンジ」参加者：8名

いずれも11：00～ かいじあむ寺子屋にて開催

○ギャラリートーク

9月28日（土）、10月19日（土）、同27日（日）、11月16日（土）、

同23日（土・祝） 企画展示室 15：00から1時間程度

【発行物】 図録 A4変形・140頁 250部

2 入場者数

【入館者数】 12,676名（1日平均入館者数：249名）

3 広報

【印刷物】 ・ポスター B2 1,000枚 B3 200枚

・ちらし A4 30,000枚

【マスコミでの紹介】 ・新聞記事（山梨日日新聞 展覧会紹介）

4 総括

- ・「奈良大和路のみほとけ」をテーマに、奈良に足を運ばなければ見ることはできない名品を出品。所蔵寺院ごとの展示とし、関連写真と実物資料を混在させることにより、サブタイトルである「古寺巡礼」を展示室で体験できる構成とした。そのため、「奈良に行ってみたい」との感想も多く見受けられた。
- ・展示の最後で、山梨県内に伝わる奈良時代の仏像である笛吹市内瑜伽寺所蔵の塑造仏像残欠の特別出陳を行った。これにより、奈良時代の仏教文化が当時の都である奈良だけでなく地方へも着実に伝播していたこと、山梨でも受容され広まっていたことを伝えることができ、県内の仏教美術への関心を高めることにもつながった。
- ・展示内に一部撮影可能なコーナー（聖林寺模刻像）を設置することにより、来館者のニーズに応えるとともに、SNSなどでの発信を促すことにもつながった。
- ・一部の来館者が複数回来館するなど、リピーターが目立った。
- ・県庁のパートナーズレターでも本展に対する好評の意見が寄せられるなど、県外の優れた文化財を鑑賞する機会に対する、県民の期待感の高さが感じられた。講演会の参加者の多さからも同様のことが言えると思われる。

資料・情報委員会の開催状況について

1. 令和6年度 資料・情報委員会委員一覧(50 音順、敬称略)

氏名	専門分野	肩書
新井 勝紘	日本近代史	元専修大学教授
黒田 基樹	日本中世史	駿河台大学法学部長
小島 孝夫	民俗学	成城大学教授
鈴木 卓治	情報工学	国立歴史民俗博物館教授
鈴木 麻里子	日本美術史（彫刻）	山梨県文化財保護審議会委員
内藤 正人	日本美術史（絵画）	慶應義塾大学教授
新津 健	考古学	元山梨県埋蔵文化財センター所長
西村 慎太郎	日本近世史	国文学研究資料館教授

※任期は2年間（R6.5.1～R8.4.30）

2. 令和6年度 第1回(通算第38回)の開催状況

【開催日時】令和6年8月29日（木）14：00～16：00

【出席者】新井勝紘委員・小島孝夫委員・鈴木卓治委員・鈴木麻里子副委員長・
内藤正人委員・新津健委員長

※黒田基樹委員、西村慎太郎委員は欠席

【審議内容】

(1) 資料の収集について

14件（約362点）の収集資料候補（購入・寄贈・寄託）についての審議を行い、すべて収集が適正であると決議された。

【審議資料】

(1) 購入 8件

1	ビクター 楽譜 甲州音頭	1枚	臣民用「甲州音頭」のハーモニカ演奏用楽譜。
2	明治十九年九月二十 二日 烟火献納 一覧表	1枚	明治19年（1886）9月22日に行われた、東山梨東二 代二郡連合第二繭絲共進會の花火の番付表。
3	養蚕実習記念帖	1冊	大正11年（1922）に行われた、山梨県立農林学校の養

			蚕実習の記念写真アルバム。
4	はるごでんしょういく じっけん 春蠶電照育の實驗 報告	1 冊	育蚕技術のひとつである「電照育」について、その効果と実験結果を記載した報告書。
5	かいき のしおり 甲斐絹之葉	1 枚	甲斐絹の由来や直前 3 か年の生産量を記載した葉。
6	こうしゅう にしやま きゅうおんせん 甲州 西山 旧温泉 広告	1 枚	西山温泉（早川町）の広告。4 つの源泉の名称と温度、泉質、効能のほか、入浴方法の解説文が記されている。文末には県内各所からの里程と、盛夏と厳冬の入浴を推奨する附言が載せられている。
7	しんけいさんじゅうろっかいせん 新形三十六怪撰 たけだかつちよ つきよ 武田勝千代 月夜 にろうりをうつのづ に老狸を撃つ	1 点	浮世絵師、月岡芳年 ^{つきおかよしとし} による揃い物の浮世絵である、「新形三十六怪撰」の 1 枚。武田勝千代（信玄の幼名）が、話しかけてきた木馬（正体は老狸）を切り付けたという逸話が絵画化されている。
8	やえがきひめ すけだかや 八重垣姫 助高屋 たかすけ 高助	1 点	明治時代を中心に活動した浮世絵師、歌川周重 ^{ちかしげ} による役者絵。歌舞伎の演目である、『本朝廿四孝』に登場する八重垣姫を、四代目、助高屋高助演じる様子が描かれている。

(2) 寄贈 5 件

1	おかもとけしりょう 岡本家資料	32 点	江戸時代には甲府八日町三丁目の商家・木曾屋を、近代には塩山町（甲州市）で製糸業を営んでいた岡本家に伝来した古文書等。
2	こふちゅうえず こうふじょう 古府中絵図・甲府城 かまちえず 下町絵図	2 点	江戸時代末～明治頃に作成された古府中絵図と、柳沢氏時代の甲府城下町絵図。古府中絵図は武田氏家臣の屋敷地を詳しく記している点、甲府城下町絵図は藩士個々の屋敷地を詳しく記している点が特徴的である。
3	いちのみやしゅりのすけけんじょうつし 一宮修理亮家文書写	1 冊	戦国大名武田氏の家臣一宮修理亮が受給した古文書の写。武田晴信書状、北条氏康書状、徳川家朱印状の 3 通の写が収録される。
4	こばやし ししゅうしゅうしりょう 小林氏 収 集 資 料	50 点	所蔵者の親戚である、小林氏が長年にわたり収集した富士山関連の資料。富士山北口からの登山案内図や錦絵、地図、写真などからなる。
5	かわぐちけでんらいほんぎしりょう 川口家伝来版本資料	143 点	市川大門にあった小間物問屋、川口家に伝来したとされる版本資料一式。おもちゃ絵などの錦絵をはじめ、芝居番付、熨斗紙 ^{のしがみ} 、菓子袋用の版本などが含まれる。

(3) 寄託 1 件

1	そぞうぶつぞうざんけつ 塑造仏像残欠	約 126 点(残欠 (大型): 24個、 残欠(細 片等):1 00個以 上、鉄芯: 1本、収 納箱:1 個)	ゆかじ 瑜伽寺所蔵の県指定文化財「木造如来形坐像一軀、塑 造仏像残欠一括」のうちの後者。塑像の断片と鉄芯、 それらを納入していた収納箱(元禄3年、1690 銘)か ら成る。制作が奈良時代に遡る、当寺の歴史を考える 上でも貴重なもの。
---	--------------------------------------	--	--

令和 6 年度 みんなでつくる博物館協議会 開催状況

1. 全体会議

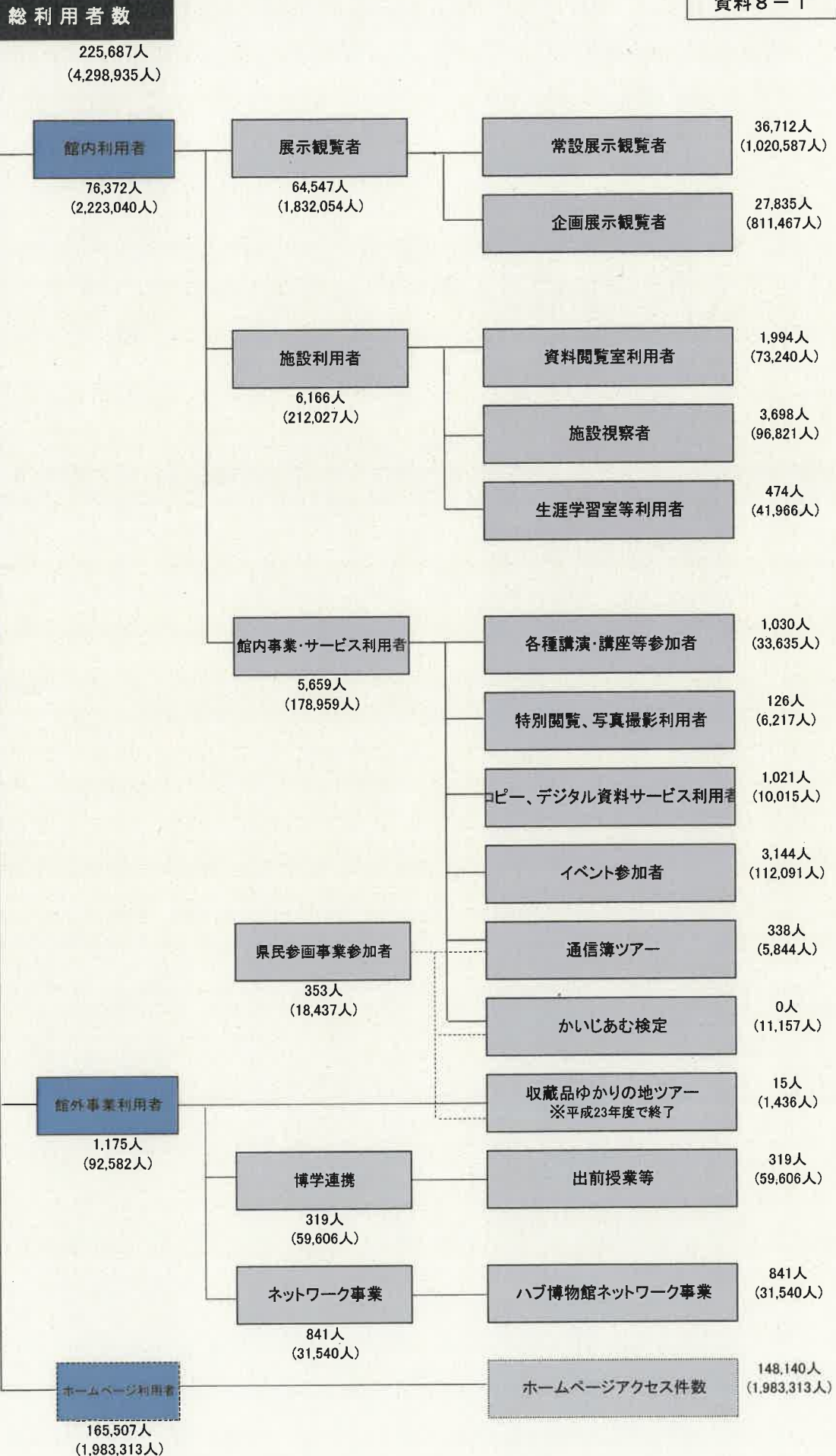
- 日 時 令和 6 年 5 月 15 日（水）午後 1 時 30 分から 3 時 30 分まで
場 所 山梨県立博物館 生涯学習室
出席者 委員 13 名、文化振興・文化財課 1 名、事務局 12 名、傍聴人なし
内 容 ・ 県民参画事業の概要と令和 5 年度の事業報告
・ 令和 6 年度県民参画事業の計画
・ 今後の県民参画事業の検討にあたり、部会を設置することの承認

2. 部会(NPO 委託事業検討部会)

- 日 時 令和 6 年 8 月 9 日（金）午後 2 時から 4 時まで
場 所 山梨県立博物館 交流室
出席者 委員 7 名、事務局 3 名
※部会委員は、委員長と協議のうえ次の 7 名とした
古屋真弘委員長、安達義通委員、鞍打大輔委員、佐野隆委員、
白井秀典委員、中原優子委員、成澤治子委員
内 容 今後の県民参画事業（NPO 委託）についての意見交換
○委員から出された意見の例
・ イベント等を通じて博物館に来てもらうという参画の形にこだわる必要はない
・ 開館 20 年目を迎え、あらためてシンクタンクとしての博物館の認知度を高めていくことが大切である。その発信の手伝いをする事業がよい
・ 建設ときに「ハブ博物館」を目指していたが、今もって「ハブ」になっていない。だからこそ、地域住民を巻き込むやり方が必要である
・ 人は人に付くものである。人という財産を活用してほしい
・ 市町村、学生（大学生、高校生、子ども）など、小さな単位と協働することにより博物館活動の周知を事業の中心としてほしい

3. 今後の予定

- ・ 令和 6 年度内に、部会における意見交換の状況を全委員に書面で報告する
- ・ 令和 7 年度 5 月までに全体会議を開催し、NPO 委託事業について今後の方向性を決定する
- ・ 令和 7 年度に、第 V 期（開館 21 年度目から 25 年度目まで）以降の評価制度について検討を行う



※()内の数値は平成17年度分から令和6年度1月分までの実績数値の総計である。

■開館年度(平成17年度)から令和5年度までの年度別統計

	総利用者	館内利用者 (a+b+c)															館外利用者				ホームページ 利用者
		展示利用者 (a)					施設利用者 (b)			館内事業・サービス利用者 (c)							県民参画事業 収蔵品ゆかり の地ツアー	博学連携 出前授業 受講者	ハブ博物館 ネットワーク 事業		
		常設展示 (発券数)		企画展示 (発券数)		資料閲覧室 利用者	施設視察者	生涯学習室 等利用者	講座・講演会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等	コピー・デジタル 資料サービス利用	イベント 参加者	通信簿 ツアー	かいじあむ 検定							
17年度	143,415	114,412	98,578	66,274	32,304	10,889	6,085	1,190	3,614	4,945	1,321	92	209	2,911	180	232	433	282	151	0	28,570
18年度	221,107	149,254	124,182	92,277	31,905	16,043	7,957	3,674	4,412	9,029	2,604	263	479	5,213	345	125	1,451	195	156	1,100	70,402
19年度	203,261	126,055	105,596	66,291	39,305	13,908	7,306	3,486	3,116	6,551	1,515	219	496	3,861	240	220	4,833	166	1,317	3,350	72,373
20年度	169,893	97,551	73,419	49,634	23,785	12,461	4,754	4,262	3,445	11,671	1,649	265	549	8,613	143	452	2,781	180	1,076	1,525	69,561
21年度	233,815	145,172	119,288	59,508	59,780	13,034	4,399	6,640	1,995	12,850	3,553	330	488	7,029	231	1,219	5,194	274	3,871	1,049	83,449
22年度	231,369	145,518	112,363	56,505	55,858	17,855	4,060	11,718	2,077	15,300	2,937	83	444	11,121	188	527	3,728	141	2,670	917	82,123
23年度	200,843	112,026	90,090	49,858	40,232	12,558	3,354	6,800	2,404	9,378	2,473	276	402	4,943	166	1,118	4,658	183	3,721	754	84,159
24年度	200,181	107,246	86,695	49,341	37,354	11,120	2,983	4,769	3,368	9,431	3,003	306	427	4,633	183	879	7,110	0	6,077	1,033	85,825
25年度	213,116	121,898	101,746	57,860	43,886	10,900	4,067	4,295	2,538	9,252	1,635	422	453	5,443	468	831	7,220	0	6,350	870	83,998
26年度	200,624	109,888	92,621	47,119	45,502	9,334	3,609	3,373	2,352	7,933	1,139	278	359	5,312	364	481	5,548	0	4,740	808	85,188
27年度	252,303	155,517	135,417	57,879	77,538	11,273	4,140	5,241	1,892	8,827	1,309	306	343	5,673	396	800	5,303	0	4,434	869	91,483
28年度	202,665	97,898	75,051	41,133	33,918	9,405	2,924	4,569	1,912	13,442	2,105	335	545	9,431	267	759	10,071	0	4,327	5,744	94,696
29年度	236,110	131,264	105,822	55,118	50,704	10,563	3,191	5,818	1,554	14,879	1,190	310	728	11,604	240	807	6,646	0	4,207	2,439	98,200
30年度	221,157	111,365	89,066	45,437	43,629	11,097	3,483	5,142	2,472	11,202	1,241	818	725	7,253	400	765	8,122	0	3,862	4,260	101,670
31・1年度	236,880	116,491	96,081	47,775	48,306	11,173	3,200	6,117	1,856	9,237	1,602	748	729	5,072	271	815	9,486	0	4,701	4,785	110,903
2年度	148,749	36,078	31,602	20,669	10,933	2,599	67	2,240	292	1,877	185	400	100	627	278	287	1,953	0	1,953	0	110,718
3年度	228,571	78,785	69,266	34,963	34,303	6,254	1,423	4,129	702	3,265	644	240	377	1,370	470	164	2,988	0	2,988	0	146,798
4年度	267,334	95,740	80,035	42,870	37,165	8,398	2,382	5,416	600	7,307	1,403	209	387	4,467	400	441	2,044	0	1,575	469	169,550
5年度	261,855	94,510	80,589	43,364	37,225	6,997	1,862	4,244	891	6,924	1,097	191	754	4,371	276	235	1,838	0	1,111	727	165,507
6年度	225,687	76,372	64,547	36,712	27,835	6,166	1,994	3,698	474	5,659	1,030	126	1,021	3,144	338	0	1,175	15	319	841	148,140
計	4,298,935	2,223,040	1,832,054	1,020,587	811,467	212,027	73,240	96,821	41,966	178,959	33,635	6,217	10,015	112,091	5,844	11,157	92,582	1,436	59,606	31,540	1,983,313

■R6年度 県立博物館利用者状況(月別集計)

	総利用者	館内利用者 (a+b+c)															館外利用者				ホームページ 利用者
		展示利用者 (a)				施設利用者 (b)				館内事業・サービス利用者 (c)							県民参画事業 収蔵品ゆかり の地ツアー	博学連携 出前授業等 受講者	ハブ博物館 ネットワーク事業 事 業		
		常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設視察者	生涯学習室他 等利用者	講座・講演会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等	コピー・デジタル 資料サービス利用	イベント 参加者	通信簿 ツアー	かいじあむ 検定									
4 月	20,338	7,565	6,348	3,173	3,175	790	214	555	21	427	171	10	103	143	0	0	2	0	2	0	12,771
5 月	19,216	6,536	5,112	3,261	1,851	714	196	483	35	710	26	16	114	554	0	0	28	0	1	27	12,652
6 月	14,639	2,886	2,341	2,341	0	273	139	97	37	272	71	13	95	93	0	0	0	0	0	0	11,753
7 月	29,059	8,578	7,781	4,286	3,495	395	156	223	16	402	68	14	112	208	0	0	814	0	0	814	19,667
8 月	38,692	15,753	13,207	6,511	6,696	1,266	276	943	47	1,280	115	9	141	1,015	0	0	0	0	0	0	22,939
9 月	23,044	5,670	4,844	3,350	1,494	477	185	292	0	349	45	11	126	167	0	0	0	0	0	0	17,374
10月	26,782	11,082	10,137	5,056	5,081	630	233	359	38	315	55	18	141	101	0	0	107	0	107	0	15,593
11月	27,785	13,691	11,661	5,618	6,043	1,085	328	631	126	945	315	14	99	517	0	0	1	0	1	0	14,093
12月	8,527	1,640	959	959	0	260	81	32	147	421	0	6	29	48	338	0	53	0	53	0	6,834
1 月	17,605	2,971	2,157	2,157	0	276	186	83	7	538	164	15	61	298	0	0	170	15	155	0	14,464
2 月	0	0	0			0				0					0	0	0	0		0	
3 月	0	0	0			0				0					0	0	0	0		0	
計	225,687	76,372	64,547	36,712	27,835	6,166	1,994	3,698	474	5,659	1,030	126	1,021	3,144	338	0	1,175	15	319	841	148,140